

事業者、大学、専門学校等の皆様へ

愛媛県知事 中村 時広

年始における新型コロナウイルス感染症対策の注意事項について

皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に御協力いただき、感謝申し上げます。

さて、県内では、昨年末以降、会食が発端となった5つのクラスターが連続して発生するなど、感染者は増加傾向にあり、年明け以降の感染を抑えるためには、今が正念場となっています。

こうした中、感染拡大が続く首都圏の知事が、政府に対し、緊急事態宣言の発出の検討を要請したと報道されております。首都圏では、これらの知事が強く危機感を抱くほどの感染拡大が続いていること、そして、首都圏のみならず、関東近郊の各県や近畿圏・愛知県などでも、同じ程度の感染拡大が見られ、大都市から周辺部に染み出るような感染拡大が見られることは、愛媛県でも重く受け止めるべき事態です。

12月下旬は忘年会等の会食を通じて感染が拡大するリスク、年末年始は人混みや家庭内での感染が拡大するリスク、年明けは職場や学校、そして新年会等の会食で感染が拡大するリスクがあることを、記者会見などの場で何度も説明してまいりました。

特に、年末年始の帰省については、「くれぐれもご家庭で相談してほしい」「できるだけ延期してほしい」との呼びかけを行い、実際に帰省を見送っていただいた方々もおられると思いますが、やむを得ない事情等による感染拡大地域と人の行き来自体は、一定程度発生したものと考えています。

本県で発生した事例でも、この冬に入り、陽性者との接触から2～3日程度で発症するなど、以前よりも短いサイクルで感染が続く状況が多発しています。

こうした中で、

○年末に忘年会等を重ねた方々

○正月に普段接触しない方と会食した方々

○感染拡大地域を訪れていた方々

もおられることと思われます。こうした方々が仮に感染者と接触していた場合、本日から出勤、登校した時点で、他人に感染させる状態となっていることが大いに危惧されます。

1月4日から新年の業務を開始される事業者も多く、また、大学や専門学校等でも授業が始まるなど、本日以降、社会経済活動が順次、再開されますが、会社や学校などへの感染の持ち込みは、できる限り抑えていかなければなりません。

そのため、企業や団体、大学や専門学校等の関係者の皆様方におかれては、

- 「新年のあいさつをするため、少し体の具合が悪くても出勤しなければ」
などと決して考えず、体調不良の場合には自宅で静養すること。
- この2週間の間も顔を合わせていた方々でない限り、新年の懇親会は見送
っていただくこと。

を、従業員や学生の方々に徹底いただきますよう、くれぐれもお願いします。

また、引き続き業種別の感染予防ガイドラインの実践やテレワーク・時差出勤の促進、さらには出張時の感染防止対策の徹底を行っていただきますよう、よろしくお願いします。

加えて、普段はマスクをしていますが、会食の際にマスクを外して人と話をすることが、急所であることが国の分科会等でも指摘されています。

会食の場で、注意していただきたい次の4点を、従業員や学生の方々にも周知いただきますよう、併せてお願いします。

- 大人数、長時間の会食は行わない。
- 体調不良の方は、参加しない、参加させない。
- 感染拡大地域での滞在を含め、2週間以内にリスクの高い行動をされている方は、親族同士であっても会食は避ける。
- 恒例の会食であっても、開催を見送る、誘われても断る。

なお、飲酒を伴う会食は、大きな声での会話等になりがちのため、特に気を付けるべきことですが、飲食店での会食だけではなく、自宅でのホームパーティー、カラオケ等の場所であっても、同様に感染リスクがあり、県内での感染事例が発生していることにもご注意いただきますようお願いいたします。